【資　料】

第4回森林遺伝育種学会総会議事録および第4回森林遺伝育種学会シンポジウム報告

森林遺伝育種学会事務局

第 4 回森林遺伝育種学会総会議事録

日時：2015年3月29日（日）9:00 ～ 9:30
場所：北海道大学農学部 多目的室（W109）
出席役員等：井出雄二、後藤晋、津村義彦、高橋誠、戸丸信弘、渡辺敦史、吉村研介、齊藤陽子、井城泰一、玉木一郎
議長：斎藤真己
議題：

第1号議案　平成26年度事業報告及び決算報告

後藤理事より、平成26年度事業報告（別紙1）と決算報告（別紙2）についての説明があり、齊藤（陽）監事より、会計が適正に処理されていた旨報告があった。その上で、平成26年度事業報告及び決算報告について、満場一致で承認された。

第2号議案　平成27年度事業計画及び収支予算

後藤理事より、平成27年度事業計画（別紙3）及び収支予算案（別紙4）が提案され、満場一致で承認された。

第3号議案　森林遺伝育種学会会則の改正

後藤理事より、第9条として事務局の所在地について、第11条として学会の設立年月日を明記する会則の改正（別紙5）が提案され、満場一致で承認された。

第4号議案　役員の交代について

後藤理事より、編集主事1名を井城泰一氏から能勢美峰氏に交代することについて説明があり（別紙6）、満場一致で承認された。

その他

後藤理事より、年齢が40才以下であり、前年度までの学会費を納入しており、年間の収入が200万円以下の会員の内、申請のあった会員の当該年度の学会費を学生会員と同額にするとする若手会員の学会費を減免する措置（別紙7）について提案があり、満場一致で承認された。

別紙1　平成26年度事業報告

1. 事業報告

（1）第3回総会の実施

2014年3月30日、大宮ソニックシティにて開催した。

（2）会誌の発行

第3巻第2号～ 4号および第4巻第1号を学会ホームページ上に掲載し、第3巻冊子体を2015年3月に発行した。

（3）シンポジウムの開催

第3回森林遺伝育種学会シンポジウム「ゲノム情報に基づく林木育種の可能性」を2014年3月30日、大宮ソニックシティにて開催した。

（4）大会（研究発表会）の開催

公益法人「国土緑化推進機構」の助成を受けて、第3回森林遺伝育種学会大会（研究発表会）を2014年11月7日、東京大学弥生キャンパス・セイホクギャラリーで開催した。参加者69名、発表件数43件。

（5）「森林遺伝育種学会賞」および「森林遺伝育種学会奨励賞」の表彰

森林遺伝育種学会賞：吉丸博志氏を表彰。森林遺伝育種学会奨励賞：三嶋賢太郎氏、木村恵氏を表彰した。

（6）ホームページの更新

森林遺伝育種学会ホームページ（http://fgtb.ac.affrc.go.jp/ index.html）へ会誌の掲載ならびに各種情報を更新した。

（7）その他

メールマガジンを9回発行。2014年7月1日発行JATAFFジャーナル第2巻7号のトピックスに森林遺伝育種学会のミッションと活動を紹介した。理事会（2014年8月2日）、編集委員会（2014年11月7日）を開催した。林木育種協会図書を販売した。一般社団法人学術著作権協会の活動へ協力した。

別紙2　平成26年度決算報告

収支	項目	予算額	決算額	差引増減	摘要
収入の部	会費	707,000	969,000	262,000	普通会員131、学生会員12、団体会員7、賛助会員4
	寄付金	0	0	0	
	図書販売等	50,000	192,556	142,556	書籍販売158,275円、学術著作権協会34,281円
	預り金	196,000	165,000	△ 31,000	次年度会費前納分（普通会員20、団体会員1）
	前年度繰越額	1,478,925	1,478,925	0	
	計	2,431,925	2,805,481	373,556	
支出の部	出版広報費	300,000	324,000	△ 24,000	会誌編集及び印刷
	その他事業費	120,000	220,772	△ 100,772	表彰、大会・シンポジウム経費（H26年度緑水助成金はH27年5月払込予定）
	管理費	15,000	6,572	8,428	郵便発送代400円、振込伝票印字サービス料502円、会議費5,670円
	予備費	50,000	50,000	0	理事会旅費50,000円
	計	485,000	601,344	△ 116,344	
収支差額		1,946,925	2,204,137	257,212	次期繰越額（預り金165,000円を含む）

別紙3　平成27年度事業計画

1. 事業計画

（1）総会の開催

2015年3月29日、北海道大学にて開催する。

（2）会誌の発行

第4巻第2号～4号および第5巻第1号を学会ホームページ上に掲載。第4巻冊子体を12月に発行する。

（3）シンポジウムの開催

第4回森林遺伝育種学会シンポジウムを2015年3月29日、北海道大学で開催する。

（4）大会（研究発表会）の開催

第4回森林遺伝育種学会大会（研究発表会）を2015年11月6日（金）、東京大学弥生キャンパス・セイホクギャラリーで開催する。

（5）「森林遺伝育種学会賞」および「森林遺伝育種学会奨励賞」を選考、授与する。

（6）その他

メールマガジンを随時発行。編集委員会の開催。林木育種協会図書の販売。一般社団法人学術著作権協会の活動への協力。公益社団法人「国土緑化推進機構」へ、大会ならびにシンポジウム開催について助成申請を行う。

別紙4　平成27年度収支予算

収支	項目	予算額	前年度予算	増減	備考
収入の部	会費	919,000	707,000	212,000	普通会員138、学生会員9、団体会員12、賛助会員5
	助成金	246,772	0	246,772	
	寄付金	0	0	0	
	図書販売等	80,000	50,000	30,000	書籍販売40,000円、学術著作権協会40,000円
	預り金	60,000	196,000	△ 136,000	前納学会費（H28年度以降）
	前年度繰越額	2,144,137	1,478,925	665,212	
	計	3,449,909	2,431,925	1,017,984	
支出の部	出版広報費	520,000	300,000	220,000	印刷費、配送料込み
	会議旅費	70,000	0	70,000	編集委員会、理事会等
	その他事業費	200,000	120,000	80,000	表彰、大会・シンポジウム等
	管理費	10,000	15,000	△ 5,000	事務通信費
	予備費	50,000	50,000	0	
	小計	850,000	485,000	365,000	
次期繰越金		2,599,909	1,946,925	652,984	

別紙5　会則の改正

（改正前）

（第1条～第8条　省略）

第9条　その他

その他必要な事項は、理事会において決定する。

（改正後）

（第1条～第8条　省略）

第9条　事務局等

本会に次の事務局を置く。

総務：東京都文京区弥生1-1-1　東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室内

会計：本会の会計に係る事務は、茨城県日立市十王町伊師3809-1に位置する森林総合研究所林木育種センター内

第10条　その他

その他必要な事項は、理事会において決定する。

第11条　附則

本会の設立は、平成24年3月29日である。

別紙6　役員の交代

主事　井城泰一　⇒　能勢美峰（平成27年4月1日～29年3月31日）

第4回森林遺伝育種学会シンポジウム報告

日時：2015年3月29日（日）9:30 ～ 12:00

場所：北海道大学農学部 多目的室（W109）

テーマ：カラマツの遺伝育種学の進展と育種の展望

話題：

1. カラマツ天然林の遺伝的変異
   永光輝義（森林総合研究所・森林遺伝研究領域）・戸丸信弘（名古屋大学・生命農学研究科）
2. ポット苗を用いたカラマツの着花誘導試験
   今博計・来田和人（北海道立総合研究機構・林業試験場）
3. カラマツ属の種間交雑育種、F_1 雑種の識別
   森口喜成（新潟大学・自然科学研究科）
4. カラマツの次世代化に向けた材質育種の取り組み
   田村明（森林総合研究所・林木育種センター北海道育種場）
5. カラマツ林業と今後のカラマツ育種の展望
   黒丸亮（北海道立総合研究機構・林業試験場）

以上、5題の話題提供があり、今後の北海道における種間交雑育種などのカラマツ類の育種の展開や育種により開発された品種の普及のあり方などについて、活発な討議が行われた。